

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年9月24日(2010.9.24)

【公開番号】特開2008-268967(P2008-268967A)

【公開日】平成20年11月6日(2008.11.6)

【年通号数】公開・登録公報2008-044

【出願番号】特願2008-137549(P2008-137549)

【国際特許分類】

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

H 0 4 N 9/31 (2006.01)

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 5/00 5 2 0 W

G 0 9 G 5/00 5 1 0 B

G 0 9 G 5/00 5 5 0 C

G 0 9 G 3/20 6 8 0 C

G 0 9 G 3/20 6 3 1 V

H 0 4 N 9/31 Z

G 0 9 G 5/00 5 5 0 H

G 0 9 G 5/00 X

G 0 9 G 5/00 5 5 0 X

G 0 9 G 3/36

G 0 9 G 3/20 6 4 2 P

G 0 9 G 3/20 6 4 1 P

G 0 9 G 3/20 6 5 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月10日(2010.8.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

それぞれが異なる入出力特性に対応する複数の入出力特性データを記憶する記憶部と、
画像の被表示領域における視環境を把握し、前記視環境を示す視環境情報を生成する視
環境把握手段と、

複数の前記入出力特性から、目標とすべき入出力特性の選択を受け付ける選択手段と、
前記視環境情報と、選択された前記入出力特性に対応する前記入出力特性データと、に
基づき、前記画像を補正する補正手段と、
補正された前記画像を表示する画像表示手段と、
を有することを特徴とする画像表示装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、
前記補正手段は、前記画像を表示するために用いられる画像表示用情報を補正すること
を特徴とする画像表示装置。

【請求項 3】

請求項 2 において、

前記画像表示用情報は、色補正用ルックアップテーブルと、明るさ補正用ルックアップテーブルとを含み、

前記補正手段は、前記視環境情報と、選択された前記入出力特性に対応する前記入出力特性データとに基づき、前記色補正用ルックアップテーブルおよび前記明るさ補正用ルックアップテーブルを個別に補正することを特徴とする画像表示装置。

【請求項 4】

請求項 1～3 のいずれかにおいて、

校正用画像を生成する手段をさらに有し、

前記画像表示手段は、生成された前記校正用画像を前記被表示領域に表示し、

前記視環境把握手段は、前記校正用画像の表示された前記被表示領域における前記視環境を把握することを特徴とする画像表示装置。

【請求項 5】

それぞれが異なる入出力特性に対応する複数の入出力特性データを記憶する記憶部を有する画像表示装置による画像処理方法であって、

前記画像表示装置は、

それぞれが異なる複数の入出力特性から、目標とすべき入出力特性の選択を受け付ける工程と、

画像の被表示領域における視環境を把握し、前記視環境を示す視環境情報を生成する工程と、

前記視環境情報と、選択された前記入出力特性に対応する前記入出力特性データと、に基づき、前記画像を補正する補正工程と、

を実行することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 6】

前記補正工程は、前記画像を表示するために用いられる画像表示用情報を補正する工程を含むことを特徴とする画像処理方法。

【請求項 7】

請求項 6 において、

前記画像表示用情報は、色補正用ルックアップテーブルと、明るさ補正用ルックアップテーブルとを含み、

前記補正工程は、

前記視環境情報と、選択された前記入出力特性に対応する前記入出力特性データとに基づき、前記色補正用ルックアップテーブルを補正する工程と、

前記視環境情報と、選択された前記入出力特性に対応する前記入出力特性データとに基づき、前記明るさ補正用ルックアップテーブルを補正する工程と、

を含むことを特徴とする画像処理方法。

【請求項 8】

請求項 5～7 のいずれかにおいて、

前記視環境情報を生成する工程は、

校正用画像を生成する工程と、

生成された校正用画像を前記被表示領域に表示する工程と、

前記校正用画像の表示された前記被表示領域における前記視環境を把握し、前記視環境情報を生成する工程と、

を含むことを特徴とする画像処理方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像表示装置および画像処理方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、画像表示装置および画像処理方法に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記の課題に鑑みなされたものであり、その目的は、ユーザーによって選択された画像特性に適合した画像の見え方を再現可能な画像表示装置および画像処理方法を提供することにある。